

CORONA

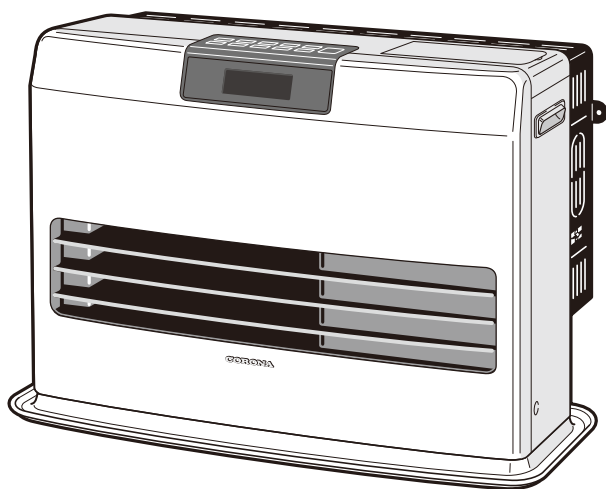
密閉式石油ストーブ

取扱説明書

〈保証書付〉保証書は裏表紙に印刷されています。

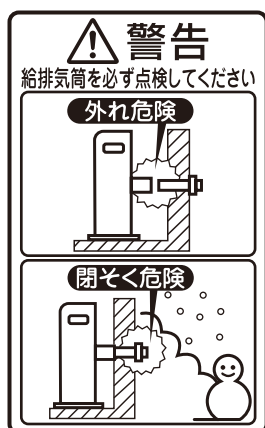
正しく使って上手に節約

型 式 エフエフ ダブル ジー ワイエイチ
FF-WG52YH



このたびは、コロナ石油ストーブをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。






もくじ

	ページ	
1 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください)	1~3	使用前に
*灯油の廃棄について	3	
2 使用する場所	3	
3 各部のなまえ	4~6	使用前に
• 外観図・構造図	4	
• 表示部	5	
• 操作部	6	
4 使用前の準備	7~8	使用前に
• 点火前の準備と確認	7	
• 燃料	7	
• 給油	8	
5 使用方法	9~14	使用方法
• 点火	9	
• 室温の調節	9~10	
• 消火	10	
• 現在時刻の合せかた	11	
• タイマー運転の使用方法	11~12	
• チャイルドロック	12	
• ECO(エコ)ガイド	13	
• 自己診断モニターについて	14	
6 安全装置	15	点検・その他
7 その他の装置	15	
8 日常の点検・手入れ	16~17	
9 定期点検	18	
10 故障・異常の見分け方と処置方法	18~19	
11 部品交換のしかた	19	
12 保管(長期間使用しない場合)・廃棄のしかた	19	
13 仕様	20	
14 アフターサービス	20	
15 据付け・移設	21	
16 お客様ご相談窓口	22	
■ 保証書	裏表紙	

株式会社 **コト**

1 特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

 	このマークは、「注意」していただく内容です。
    	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
 	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

危険 (DANGER)

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。少量の混入でも火災の原因になります。



ガソリン使用禁止

警告 (WARNING)

温風吹出口をふさがない

衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。衣類、紙などでふさぐと、火災の原因になります。



禁止

可燃物近接厳禁

カーテン・布団や毛布など燃えやすいものを近づけないでください。火災の発生するおそれがあります。可燃物との離隔距離については、標準据付図(21ページ)を参照してください。



禁止

給排気筒(管・ホース)外れ危険

給排気筒(管・ホース)が外れたまま使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。



必ず守る

外れ危険

給排気筒トップ閉そく危険

給排気筒トップの周りが雪でふさがれたまま使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。また、板などによる「雪囲い」は給排気の妨げになるのでおやめください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

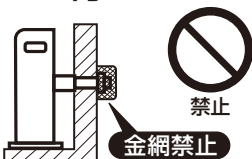


必ず守る

閉そく危険

給排気筒トップには金網などは付けない

給排気筒トップには、虫よけのための金網などは付けないでください。給排気の妨げになり、異常燃焼を起こし排ガスが室内に漏れる可能性があります危険です。



禁止

金網禁止

外付け装置による遠隔操作厳禁

スマートフォン、IT機器を使ってストーブの運転を操作する外付け装置※は安全性を確認できないため、使用しないでください。

※操作部付近に設置し、インターネット通信などで操作キーを押すことのできる装置



禁止

衣類の乾燥厳禁

衣類などの乾燥には使用しないでください。衣類が乾燥すると、ストーブの熱気でゆれて衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。



衣類乾燥厳禁

定期点検の実施

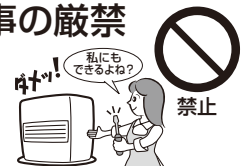
定期的(2年に1回程度)に点検・整備を受けてください。点検を受けずに長期間使用し続けると、故障や事故の原因になり危険です。点検・整備はお買いあげの販売店や資格者のいる店に依頼してください。



必ず守る

ご自身での据付け・移設工事の厳禁

お客様ご自身による工事は危険です。据付け工事はお買いあげの販売店や専門業者に、ご依頼ください。(ストーブを移設させる場合も同じです。)



禁止

スプレー缶厳禁

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところに放置しないでください。熱で缶の圧力が上がり、爆発して危険です。



禁止

改造使用の禁止

改造して使用しないでください。また、ストーブ本体や給排気筒には床暖房用の熱交換器などを取り付けないでください。火災や排ガスが室内に漏れる原因となり危険です。安全装置の無効化など機器の安全性を損なう改造は、火災など思わぬ事故の原因になります。



禁止

注意 (CAUTION)

給排気筒付近の可燃物近接禁止

給排気筒トップの近くに、灯油や可燃物など引火のおそれのあるものを置かないでください。火災のおそれがあります。



高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、温風吹出口、給排気筒トップに手などふれないでください。やけどのおそれがあります。



●小さいお子様のいるご家庭では、特に注意してください。

電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグをコンセントから抜き、ほこり(および金属物)を除去してください。(ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり)火災の原因になります。



必ず守る

電源の接続

- 電源は適正配線された単相100Vのコンセント以外は使用しないでください。発熱・発火の原因になります。
- 電源コードは、途中で接続したり、他の電気器具とのタコ足配線など、定格を超える使い方をしないでください。発熱・発火の原因になります。



禁止

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や予想しない事故の原因になります。



プラグを抜く

灯油の保管

灯油は、火気、雨水、ごみ、高温および直射日光をさけた場所に保管してください。ガソリンなどといっしょに保管しないでください。誤って使用すると異常燃焼や火災のおそれがあります。



必ず守る

外出するときは消火

外出するときは、必ず運転を停止し消火してください。



必ず守る

分解修理の禁止

故障・破損したら、使用しないでください。不完全な修理は、危険です。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。



分解禁止

高温部(やけど)に注意

燃焼中や消火直後は、高温部(グリルの周辺など)、排気筒(煙突、排気筒トップ、給排気筒トップ)に手などふれないでください。やけどのおそれがあります。



高温注意

電源コードを傷めない

電源コードに無理な力(曲げる、ねじる、引っ張る)を加えたり、物をのせたりしないでください。高温部に近づけたり、束ねたまま使用しないでください。また、電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。



禁止

温風に直接あたらない

温風に直接長時間あたらないでください。低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。温風を直接吸いこまないでください。気分が悪くなる可能性があります。



禁止

低温やけどについて

- 比較的低い温度(40~60℃)でも長時間皮ふの同じ所が熱せられると、熱い、痛いなどの自覚症状がなくても低温やけどのおそれがあります。
- 次のような方は特に注意してください。
 - 乳幼児、お年寄り、皮ふの弱い方
 - 眠気を誘う薬(睡眠薬、かぜ薬など)を服用された方
 - 深酒、疲労の激しい方

油漏れ確認

給油口は確実に閉めてください。給油口を下にして、油漏れがないことを確かめてください。給油口が確実に閉まっていないと簡単に開いて、火災の原因になります。



必ず守る

漏れを確認!

特殊用途には使用しない

食品・精密機器・美術品の保存や、動植物の飼育・栽培などには使用しないでください。



禁止

腰をかけたり、物をのせない

腰をかけたり、やかんや花びんなどの物をのせないでください。やけどしたり、ストーブが変形することがあります。また、水が内部に入ると、感電、火災、故障の原因になります。



禁止

初めてお使いになるときの注意

初めてお使いになるときは、耐熱塗料などが焼き付くまで煙とにおいが出ます。しばらくの間、窓をあけて部屋の換気を行ってください。また、小鳥や小動物などに影響する場合がございますので、この間は部屋に入れないでください。



必ず守る

不良灯油使用禁止

変質灯油(持ち越した灯油など)、不純灯油(灯油以外の油・水・ごみが混入した灯油など)などの不良灯油を使用しないでください。異常燃焼や故障のおそれがあります。



禁止

可燃性ガス使用禁止

ストーブを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)、スプレーを使用しないでください。火災や故障の原因になります。



禁止

機器を廃棄するときの注意

ストーブを廃棄処分するときは、固定タンク内の灯油を抜き取ってください。(16ページ)灯油が入ったまま廃棄するとリサイクルの際に思わぬ事故になるおそれがあります。



必ず守る

注意 (CAUTION)

給油時消火

給油は、必ず消火してから行ってください。こぼれた灯油はよくふき取ってください。火災のおそれがあります。



必ず守る

指や異物を入れない

温風吹出口や空気取入口などに指や異物を入れないでください。けがや火災の原因になります。



禁止

電源プラグは確実に差しこむ

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差しこんでください。(また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。)火災の原因になります。ぬれた手での抜き差しはしないでください。感電の原因になります。



必ず守る

居室内給油禁止

給油は、必ず火の気のないところで行ってください。火災のおそれがあります。



禁止

据付け上の注意

- お客様ご自身による工事は危険です。据付け工事や移設工事は、必ずお買いあげの販売店に依頼してください。
- ストーブおよび給排気筒の据付けについては火災予防条例、石油燃焼機器の設置基準による規制がありますので、これに従って据付けてください。
- ストーブの固定は、本体固定金具などで、確実に固定してください。



必ず守る

異常・故障時使用禁止

油漏れやにおい、すすの発生、炎の色、エラーを繰り返すなど異常や故障と思われるときは使用しないでください。事故の原因になります。「故障・異常の見分け方と処置方法」に従って処置してください。(P18・19ページ)



禁止

- 緊急時は電源プラグを抜いて消火してください。

お願い (NOTICE)

灯油の廃棄

灯油の廃棄処分は、灯油をお買いあげになった販売店にご相談ください。

2 使用する場所

安全に使用するために

- ストーブを安全に使用するためには、場所の選定が大切です。
- 場所の選定は「据付け場所の選定および標準据付け例」の項をお読みください。(P21ページ)
- クリーニング店、美容院など化学薬品を使用する場所では使用しないでください。化学薬品などの影響により異常燃焼や故障の原因になります。
- 標高が2,000mを超える高地では使用しないでください。(空気の濃度が薄いため、燃焼に必要な空気が不足します。)高地で使用する場合は、調整が必要です。(詳しくは、工事説明書の「高地で使用の場合」をご覧ください。)

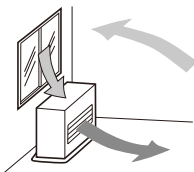


- 次の場所では使用しないでください。火災や予想しない事故の原因になります。
 - 水平でない場所、不安定な場所
 - 階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所
 - 不安定な物をのせた棚などの下
 - マンツルピース内
 - 可燃性ガスの発生する場所または、たまる場所
 - 温室、飼育室、乾燥室など人のいない場所
 - 付近に燃えやすい物がある場所

効果的に使用するために

窓の下や壁面に設置

- 外気に接する窓の下や壁面に置くと、冷気がストーブであたためられ、温風として対流しますので効果的です。



温風の循環を妨げない

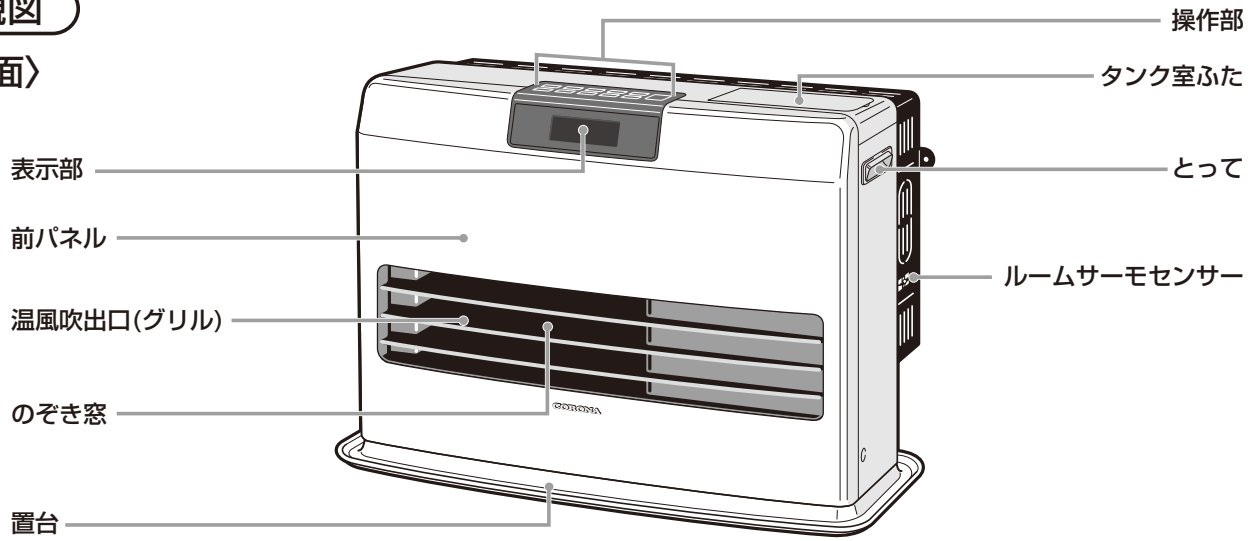
- 温風吹出口の前面に障害物を置かないでください。
- 障害物があると、部屋の温度にむらができるばかりでなく、本体の温度が上昇して危険です。また、温風がまわりこみ室温調節が正しく働かない場合があります。
- 温風吹出口側の空間を広くとれる場所を選んでください。



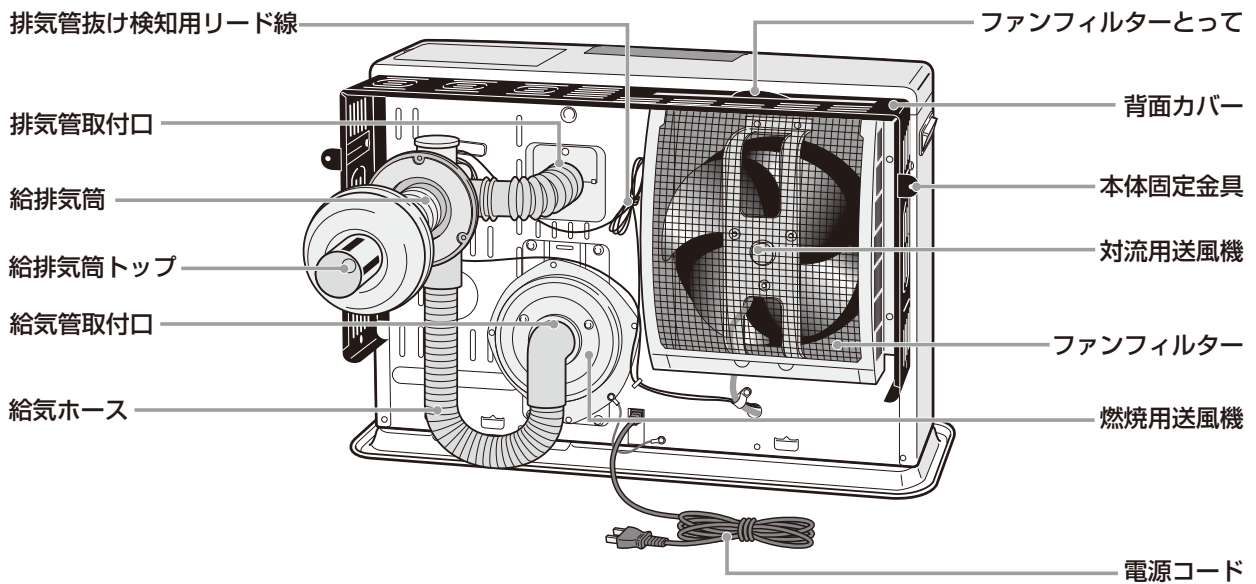
3 各部のなまえ

外観図

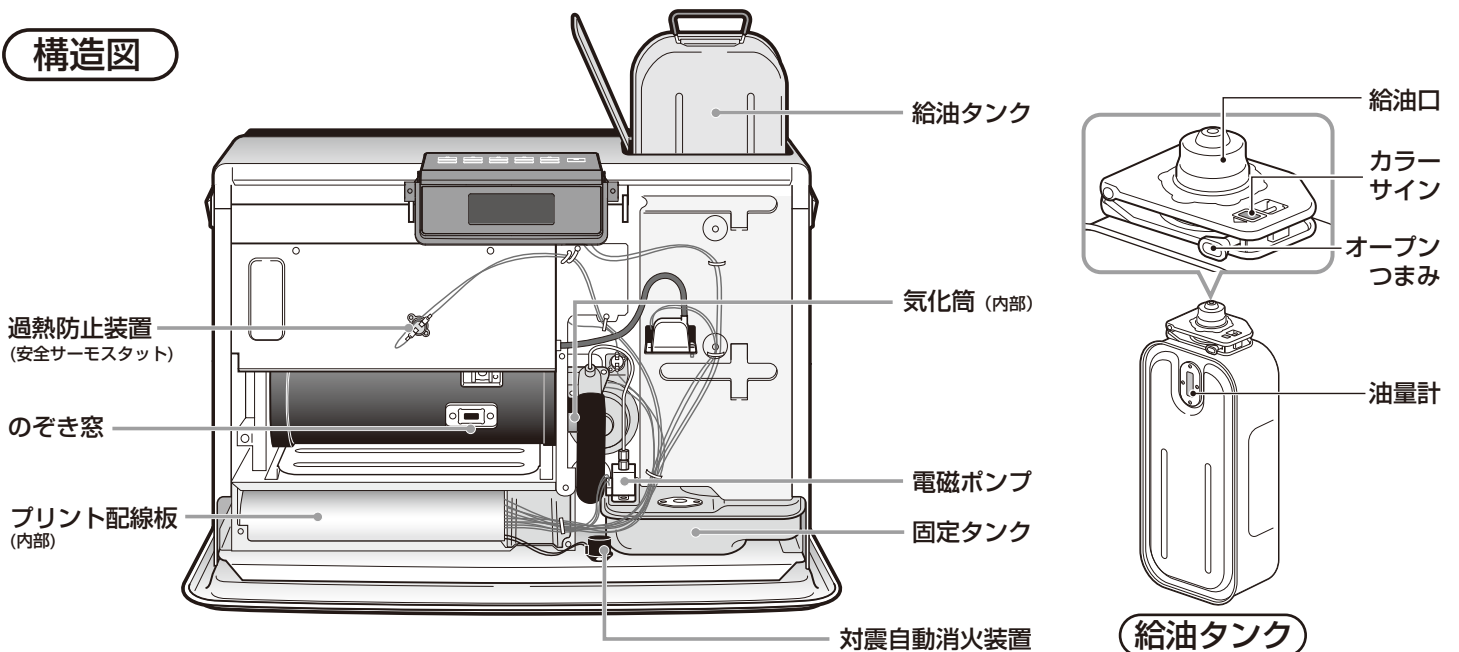
〈正面〉



〈背面〉



構造図



使用前に

表示部

★イラストは説明のため全部表示した状態にしてあります。



デジタル表示部

●使用状況に応じて設定・室内温度、現在時刻（タイマー時刻）、自己診断モニターが表示されます。

項目	表示部	
温度表示		●自動運転中 ・設定温度（12～30℃） ・室内温度表示 ・「自動」表示 ・火力をグラフで表示
		●手動（固定火力）運転中 ・室内温度表示 ・火力をグラフで表示
現在時刻表示 現在時刻合せ表示		・時計合せ消灯：現在時刻 ・時計合せ点滅：現在時刻合せ
入タイマー時刻表示 入タイマー合せ表示		・入タイマー時刻： 操作部の入タイマー1ランプ(または2)点灯 ・入タイマー時刻合せ： 表示部の入タイマー1(または2)表示点滅
記号表示 (自己診断モニター)		・(例) E9 表示：対震自動消火装置の作動
チャイルドロック		・チャイルドロックをセットしたとき
OFF表示		・切タイマー終了後の停止表示

■エコサイン（火力グラフ）

●「エコサイン」で火力と灯油1リットルあたりの運転時間がわかります。

エコサイン(火力)	各火力での1リットルあたりの運転時間
大火力	1.7 時間
	2.0 時間
	2.4 時間
	3.0 時間
	4.0 時間
小火力	6.0 時間

●数値はめやすであり、実際の使用時間とは異なる場合があります。

●点火初期や火力変更時など、エコサインと実際の火力の大きさが異なることがあります。

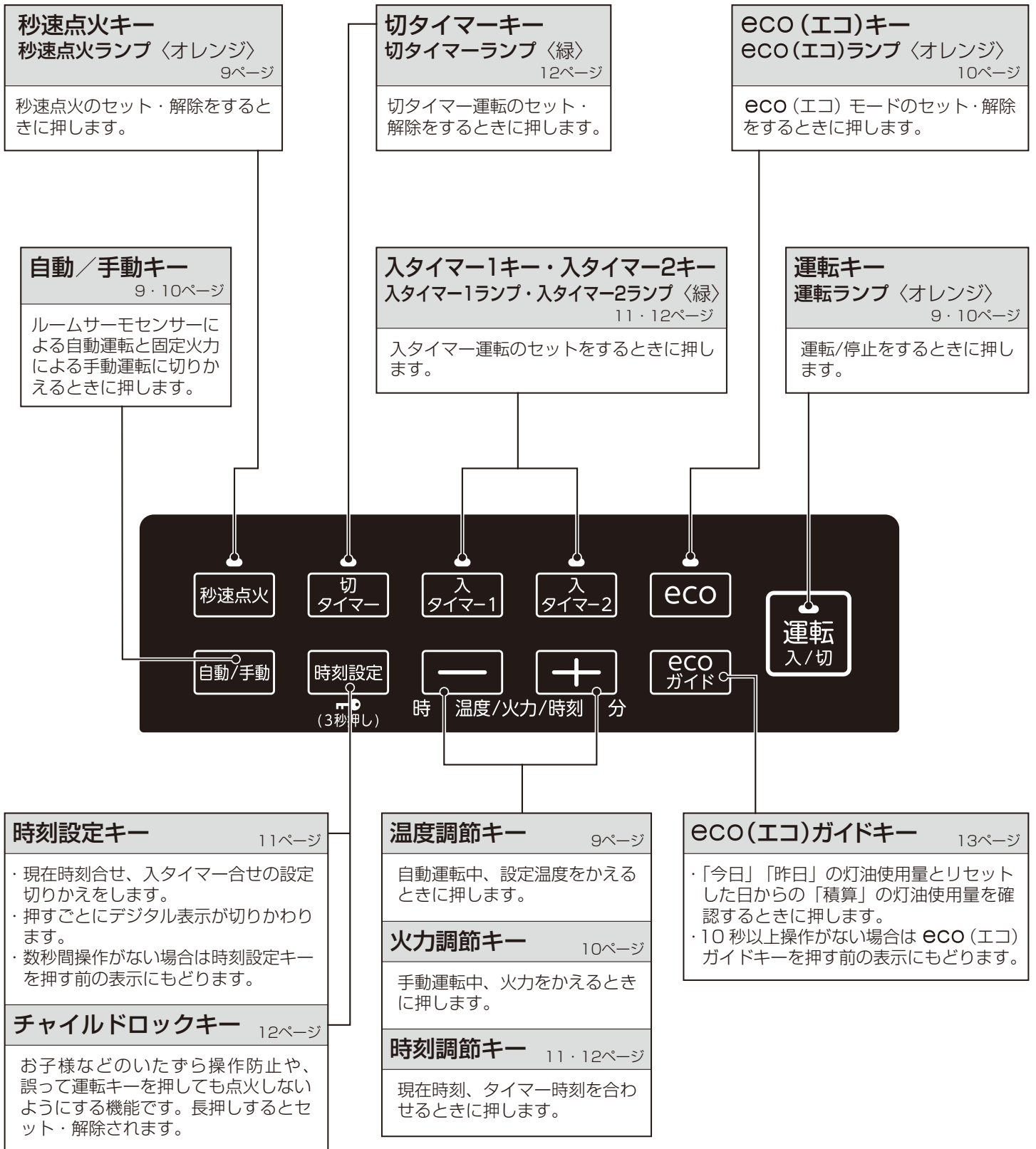
■運転停止中は表示がすべて消灯します。

- 現在時刻を確認したいときは、操作キーのいずれかを押してください。現在時刻を1分間表示します。
- 運転停止中も常時現在時刻を表示させることができます。
 - **入タイマー-2** を長押ししてください。
 - もとにもどりたい場合は、同じように **入タイマー-2** を長押ししてください。
- 入タイマー待機中は、現在時刻が点灯します。

■デジタル表示部の明るさ調節

- 温度調節キー **+** を押しながら **-** を押すことにより、デジタル表示部の明るさを3段階に調節することができます。

操作部



使用前に

お願い

●はじめてお使いになる前に

輸送時の傷を防止するため、表示部・操作部の表面に透明フィルムが貼ってあります。ご使用前に取り除いてください。コーナー部分にセロハンテープを貼り付けて、いっしょにはがすとより簡単に取り除けます。(透明フィルムは、ストーブの設置工事の際にはがしてある場合があります。)

4 使用前の準備

点火前の準備と確認

電源の接続

- **注意** 電源プラグ・コードの発熱・発火を防ぐために…
 - 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差しこんでください。
 - 電源は必ず適正配線された単相100Vのコンセントを使用してください。
 - 電源コードは、途中で接続したり、他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。

送油経路の点検

- **注意** 給油タンクおよび機器などから油漏れがないことを確認の上、ご使用ください。
 - 油漏れのあるときは、使用を中止しお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

ストーブ周囲の確認

- **警告** カーテン・布団や毛布など燃えやすいものを近づけないでください。火災が発生するおそれがあります。

給排気筒接続部の確認

- **警告** 給排気筒(管・ホース)が外れたまま使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

燃料 燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

- **危険** ガソリンなどの揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。火災の原因になります。
- **注意** 不良灯油(変質灯油、不純灯油)は絶対に使用しないでください。
- 添加剤や助燃剤などは使用しないでください。
- 灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温および直射日光をさけた場所に保管してください。

灯油とガソリンの見分けかた

指先に燃料をつけ、息をふきかけます。(火の気のない所で行ってください。)



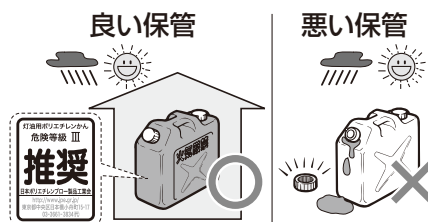
灯油は
ぬれたまま



ガソリンは
すぐ乾く

正しい灯油の保管方法

- 火気、雨水、ごみ、高温、日光を避けた場所で、保管してください。翌シーズンに持ち越さないようにしてください。
- 紫外線を通しにくい色付きの灯油用ポリタンク(推奨マーク付)を使用してください。乳白色のポリタンク(水用)は使用しないでください。
- ふたは、しっかり閉めて保管してください。但し、灯油は紫外線だけでなく温度でも変質するので、推奨マーク付の灯油専用容器でも日なたには放置しないでください。日なたに放置すれば変質灯油になってしまいます。



不良灯油(変質灯油・不純灯油)とは…

変質灯油

- 昨シーズンより持ち越した灯油
- 温度の高い場所で保管した灯油
- 日光のあたる場所で保管した灯油
- 乳白色のポリタンクで保管した灯油
- 灯油用ポリタンクのふたが開けてあった灯油



禁止



禁止

不純灯油

- 水やごみなどが混入した灯油
- ガソリン、軽油、シンナー、天ぷら油、機械油などが混入した灯油
- 灯油以外の油を入れたことのある容器に保管した灯油
- 水抜剤や助燃剤を添加した灯油



禁止



不良灯油(変質灯油・不純灯油)の見分けかた

- 2つのコップを用意し、片方には水、もう片方には灯油を入れます。その2つのコップの背後に白紙をあてて色を比較し、灯油に色が付いたら変質灯油の可能性がります。
- 変質灯油になるとうす黄色をおびた色になったり、すっぱい臭いがしたりします。
- 水が混入した不純灯油の場合は、水が下にたまり灯油と水が分離した状態になります。



※保管の状態によっては、無色透明でも灯油が変質している場合があります。

変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用すると、機器の故障の原因になります。

- 油の程度にもよりますが、燃焼不良を起こしたり、ストーブの損傷を早め、故障の原因になります。
- 水やごみが送油経路内に流れこみ、油漏れや燃焼不良・着火不良の原因になります。

変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用したときは…

- 給油タンク・固定タンク内の灯油を抜き、きれいな灯油で2~3回洗ってから使用してください。(悪い油が残っていると再発します。)
- 悪い油を抜きとって効果のないときは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

- **ご注意** 変質灯油や不純灯油などの不良灯油が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。
- 不良灯油の処理でお困りの場合は、灯油をお買いあげの販売店にご相談ください。

給油

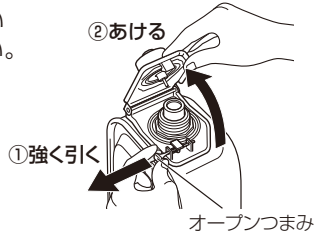
注意 給油は必ず消火してから火の気のないところで行ってください。火災のおそれがあります。

給油の手順と注意

1. 給油タンクを取り出し、給油口を開いてください。

- オープンつまみを強く引いて、給油口を開いてください。

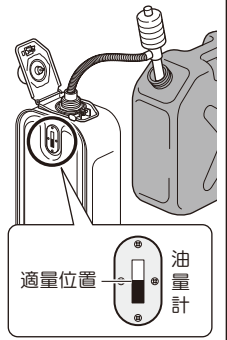
- 燃焼中は絶対に給油タンクを取り出さないでください。
- 給油タンクは、ぶついたり落としたりしないよう、ていねいに取り扱いしてください。



2. 給油してください。

- 市販の給油ポンプなどを使用して、油量計を見ながら給油してください。
- 油量計の半分くらいまで色が変わったら、給油をやめてください。

- 灯油が油量計のところまで入ってくると、黒色に変わってきます。
- 給油口に力を加えて変形させますと、油漏れの原因になりますので、変形させないでください。
- 給油ポンプのホースが抜けないよう注意してください。



3. 給油口をしめてください。

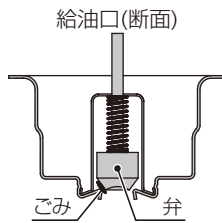
- **注意** 給油口は、確実に「パチン」と音がするまで図の位置を強く押して確実にロックし、先端を指で持ち上げて開かないことを確かめてください。

給油口を下にして、油漏れがないことを確かめてから、ストーブに正しく静かに入れてください。固定タンクや給油タンクに強い衝撃をあたえると、油漏れや故障の原因になります。

- **注意** 給油口が確実にしまっていないと灯油がこぼれて、火災の原因になります。

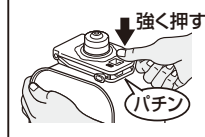
- カラーサインが全面青で表示されていることを確認してください。のような場合は、もう一度強く押してください。

- 給油口の弁部などに、ごみなどがはさまっている場合は取り除いてください。



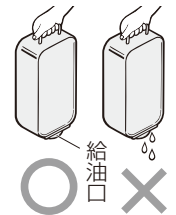
① 確実にロック → ② ロックの確認

「パチン」と音がするまで強く押してください。



持ち上げる カラーサイン

給油口をしめたあと、先端を指で持ち上げ、開かないことを確かめてください。

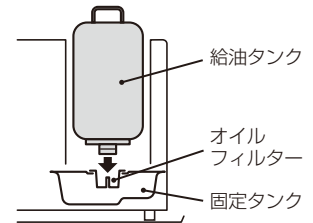


- こぼれた灯油はよくふき取ってください。
- 給油タンクが正しくセットされていないと、不着火や途中消火の原因になります。

4. 給油タンクは給油口を下側にしてタンク室に静かに入れ、中の固定タンクに正しくセットしてください。

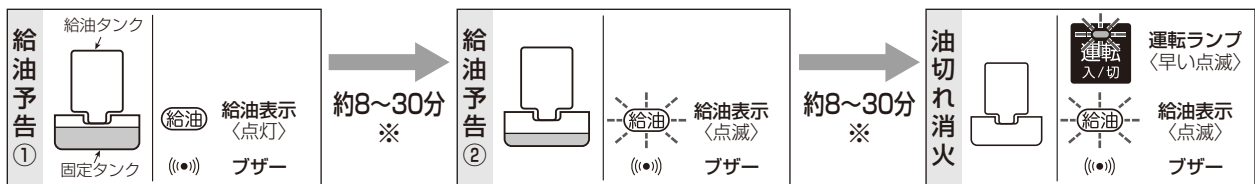
- 空気の冷えたところで給油し、給油量が少ない（半分以下）場合は、給油口を開いたまま、しばらく室温になじませてからセットしてください。（すぐにセットすると、温度変化により給油タンク内の空気が膨張するため灯油が異常流出し、固定タンクよりあふれることがあります。）

- 初めて給油されるときは、給油タンクをセットしてから、送油経路に灯油が満たされるまで4～5分位かかります。しばらく待ってから点火操作してください。



灯油が少なくなると

- ご使用中、固定タンク内の灯油が少なくなると、給油表示とブザーで給油の予告をします。早めに給油してください。給油しないで使用し続けると、油切れとなり自動消火し、給油表示・運転ランプの点滅とブザーでお知らせします。



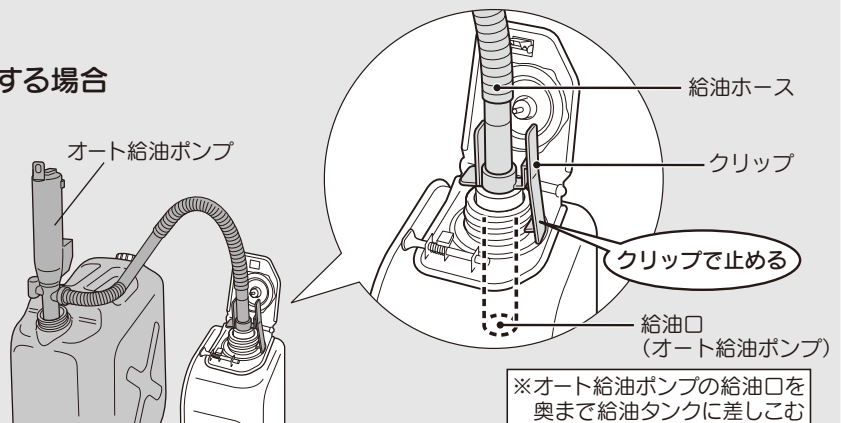
- 灯油がなくなって消火した場合は、必ず給油してから点火操作を行ってください。給油をしないと再運転できません。 ※火力により、時間が異なります

お願い

オート給油ポンプ（自動停止装置付）を使用する場合

- 市販品のオート給油ポンプの給油ホース先端（給油口）を確実に奥まで給油タンクに差しこみ、クリップで止めてから給油してください。クリップで固定しないと、自動停止しないで灯油があふれることがあります。必ず、クリップを止めてから給油してください。

※オート給油ポンプの取扱方法（クリップの固定方法詳細）は、オート給油ポンプの取扱説明書を確認ください。
※クリップで固定できないオート給油ポンプの場合は、給油ホース先端がはずれないように手をそえて確実に奥まで給油タンクに差しこんで給油してください。



※オート給油ポンプの給油口を奥まで給油タンクに差しこむ

5 使用方法

点 火

初めてご使用になるときは、給油タンクをセットしてから4~5分位待つて、点火操作をしてください。

1. 運転キーを押してください。

- 運転ランプの点滅と同時に、デジタル表示部が時計表示から温度表示に切りかわり、気化筒の予熱を開始します。

〈運転ランプ点滅〉



〈運転ランプ点灯〉



2. 予熱が完了すると自動点火します。

- 点火と同時に運転ランプは点灯にかかります。

秒速点火

運転停止中に予熱しておくことにより、点火時間を短縮させる機能です。

秒速点火キーを押してください。

- 秒速点火ランプが点滅します。
秒速点火ランプが点滅から点灯にかわる（約2分30秒後）と、秒速点火することができます。
- 点火操作後、約15秒で点火します。
- 低温時は点火時間が延びることがあります。

〈秒速点火ランプ点滅〉



〈秒速点火ランプ点灯〉



解除するとき

〈秒速点火ランプ消灯〉



■秒速点火の解除

- 秒速点火を解除するときは、もう一度秒速点火キーを押して、秒速点火ランプを消灯させてください。

- 秒速点火は、18時間たつと自動的に解除されます。
- 運転キーを押し、運転を始めますと自動的に秒速点火は解除されます。
- 秒速点火ランプが点灯しているときは、運転停止中のみ平均約100W（最大650W）の消費電力がかかります。
- タイマー運転にすると秒速点火は自動的に解除され、秒速点火キーを押しても秒速点火ランプは点滅しません。

ご注意 秒速点火ランプが点灯しているときは、運転停止中でも本体上部や温風空気取入口が熱くなり、やけどのおそれがあります。

- 着火時、放電音と同時に着火音を発しますが異常ではありません。
- 石油ガス化燃焼のため点火操作後放電開始まで約2分30秒（気化筒の予熱時間）かかり、その後約1分で対流用送風機がまわり、温風が出始めます。なお、予熱時間は室温により多少変化します。
- 初めてお使いになるときは、耐熱塗料などが焼けて煙とにおいが出ることがあります。
窓をあけて部屋の換気をしながら、半日から1日程度「大火力」で運転してください。
また、小鳥や小動物などに影響する場合がありますので、この間は部屋に入れないでください。
- 初使用時やシーズン初めのご使用時には、送油経路内の空気だまりなどにより、1回で着火しないことがあります。
このストープは、ミス着火時に再度自動的に点火動作を行います。それでも着火しない場合は、点火操作を2~3回くりかえしてください。
- 予熱中、および点火後約10分間は、熱膨張のため、熱交換器などから「ピチパチ」という音が出ることがありますが、異常ではありません。
- 外気温が低くなると、給排気筒の先端から連続的に白煙が出ることがあります。
これは排ガス中に含まれている水分が凝結して水蒸気になるためで、異常燃焼による白煙ではありません。
- ストーブの近くでラジオなどを使用すると、ラジオに雑音が入るおそれがあります。

室温の調節

「自動運転」の場合

運転中は、ルームサーモセンサーにより設定温度に応じて自動的に火力が切りかわります。（室温上昇による自動消火はしません。）

■自動/手動キーを押して「自動」表示にしてください。

■運転中に温度調節キー **—** **+** を押して希望の設定温度に合わせてください。

- **—** を1回押すと設定温度が1℃下がります。
- **+** を1回押すと設定温度が1℃上がります。
- **—** **+** を押しつづけると、設定温度は連続してかわります。
- 設定温度は、12℃から30℃までの範囲がセットできます。

自動/手動



〈自動・設定温度・室内温度・火力グラフ表示〉



eco (エコ) モード

小火力で室温が上昇する場合（気温の高いとき、日あたりの良い部屋）は、エコモードをお選びください。

■エコモードのセット

eco (エコ)キーを押してください。

- エコランプが点灯します。

〈エコランプ点灯〉



■エコモードの解除

再度、eco (エコ)キーを押してください。

- エコランプが消灯して通常運転にもどります。

解除するとき

〈エコランプ消灯〉



■エコモードとは…

- 大火力を約25～30%おさえて運転します。
- 設定温度が20℃に設定されます。ただし、設定温度が20℃よりも低い場合は、そのままの設定温度になります。また、エコモードをセットした後でも、設定温度は変更できます。
- 室温が設定温度より約2℃上昇すると自動的に消火し、設定温度まで下がると自動的に再点火して、室温を調節します。自動消火中は、エコランプのみ点灯しています。
- 「手動運転」の場合は、エコモードは設定できません。

「手動運転」の場合

固定火力運転による火力調節が可能です。火力は6段階の調節ができ、デジタル表示部にグラフ表示されます。

■自動/手動キーを押して固定火力にします。

■運転中に火力調節キー **—** **+** を押して希望の火力に合わせてください。

- **—** を1回押すと火力が1段下がります。
- **+** を1回押すと火力が1段上がります。
- **—** **+** を押しつづけると、設定火力は連続してかわります。
- 設定火力は、1段から6段までの範囲がセットできます。

自動/手動



〈室内温度・火力グラフ表示〉

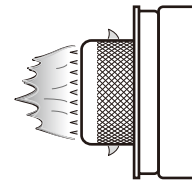


炎の状態

- 大火力・小火力とも工場出荷時に燃焼状態を調節してあります。
- 炎の状態は青い炎の中に、いくらかの黄色い炎（赤火）が混じっていても異常ではありません。

正常燃焼

〔青い炎の中に黄色い炎が混じっている〕



消火

運転キーを押してください。

- 運転ランプは消灯しますが、燃焼用・対流用送風機は、燃焼室が冷却するまで運転を続けます。デジタル表示部は温度表示から現在時刻表示に切りかわります。（エコモードで運転中の場合は、エコランプも消灯します。）
- 約6分後に燃焼室が冷却され、燃焼用・対流用送風機が自動的に停止します。

〈運転ランプ消灯〉



- 外出するときは、必ず消火してください。
- **△注意** 長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 消火後は本体内部が冷却するまで送風を続けます。
- ストーブに強い衝撃を与えて消火したり、電源プラグをコンセントから抜いて消火することはしないでください。
- 消火操作後は、火が消えていることを確かめてください。

現在時刻の合せかた

タイマー運転を使用するときは、現在時刻が合っていることを確認してください。

- 現在時刻は工場出荷時に合わせていますが、多少ずれることがあります。時刻がずれているときは、次の手順で合わせてください。

1. 時刻設定キーを押して、時計合せ表示を点滅させてください。
2. 時刻調節キーの **—** **+** を押して、現在時刻を合わせてください。

- 1回押すごとに **—** (時) は1時間、**+** (分) は1分進みます。押しつづけると表示は連続して進みます。
- (時) キーで時刻合せをしたときは、午前・午後をまちがえないように注意してください。



[例] 午後10時35分に時刻をセット



- 数秒間操作がないとき、時刻表示部は自動的にもとの表示にもどります。
- バックアップ電源により1度セットした時刻は電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通电したときでも記憶されていますので、再度セットする必要はありません。

タイマー運転の使用法

入タイマー時刻の合せかた

1. 時刻設定キーを2回押して、入タイマー1表示を点滅させてください。
(入タイマー2の場合は時刻設定キーを3回押し、入タイマー2表示を点滅させてください。)

2. 時刻調節キーの **—** **+** を押して、希望の入タイマー時刻に合わせてください。

- 1回押すごとに **—** (時) は1時間、**+** (分) は1分進みます。押しつづけると表示は連続して進みます。
- (時) キーで時刻合せをしたときは、午前・午後をまちがえないように注意してください。



[例] 午前7時30分に時刻をセット



- 数秒間操作がないとき、時刻表示部は自動的にもとの表示にもどります。
- セットした入タイマー時刻は電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通电したときでも記憶されています。

入タイマー

タイマー運転を使用するときは、必ず「現在時刻合せ」、「入タイマー時刻合せ」を先に行ってください。

1. 運転キーを押してください。

- 運転中にセットする場合は、押す必要はありません。

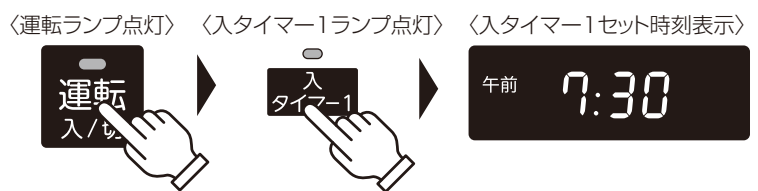
2. 入タイマー1キーを押してください。

- 入タイマーキーを押すと運転が停止し、入タイマー1ランプが点灯して、セット完了です。
(入タイマー2の場合は、入タイマー2ランプが点灯します。)

- デジタル表示部に入タイマー時刻が表示され、入タイマー運転に入ります。

- 数秒後に現在時刻表示にもどります。

- 合わせた時刻になると、入タイマーセット前の運転モードで運転を開始します。



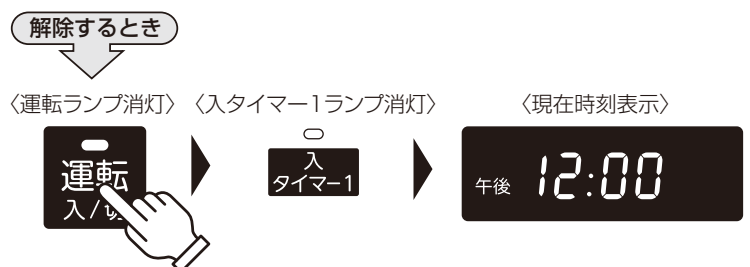
- タイマー運転中は、タイマーセット時刻表示の明るさ(輝度)が落ちます。
- 入タイマー1と入タイマー2は同時セットできません。

入タイマー運転の解除

運転キーを押してください。

- 入タイマーランプが消灯し、入タイマー運転が解除されます。

- 外出時など、留守中に燃焼を開始するような入タイマーセットは絶対しないでください。予想しない事故が発生するおそれがあります。
- 入タイマーセット後に停電があった場合は、入タイマー運転は解除されます。

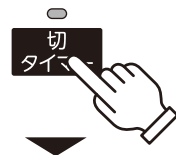


切タイマー

1. 切タイマー時間表示にしてください。

- 切タイマーキーを押して、デジタル表示部を切タイマー時間表示にしてください。
- 切タイマーランプが点灯します。

〈切タイマーランプ点灯〉



〈切タイマー表示点滅〉



時 温度/火力/時刻

2. 切タイマー時間を変更してください。

- デジタル表示部に切タイマー時間が表示されているとき、時刻調節キー **— +** を押してデジタル表示部の時間を変更してください。
- 切タイマー時間は以下の10種類から選択できます。

0.5H	30分間運転後自動消火
1H	1時間運転後自動消火
2H	2時間運転後自動消火
3H	3時間運転後自動消火
4H	4時間運転後自動消火
5H	5時間運転後自動消火
6H	6時間運転後自動消火
7H	7時間運転後自動消火
8H	8時間運転後自動消火
9H	9時間運転後自動消火

- 数秒間操作がないとき、または切タイマーキーを押したとき、デジタル表示部に表示されている切タイマー時間がセットされます。設定時間経過後自動消火し、同時にデジタル表示部は **OFF** となります。
- 切タイマー時間を変更する場合、切タイマー運転を解除してから、再度セットしてください。

●セットした切タイマー時間は電源プラグをコンセントから抜いたり、停電などがなければ記憶されます。

切タイマーの解除

切タイマーキーを押して、切タイマーランプを消灯させてください。

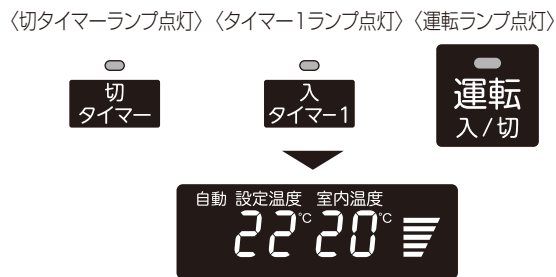
- この状態で、入タイマー運転されていない場合は燃焼が継続しますので、消火するときは運転キーを押してください。



入タイマーと切タイマーの同時運転

1. 切タイマーをセットしてください。(12ページ)
2. 入タイマー1をセットしてください。(11ページ)
(入タイマー2の場合は、入タイマー2をセットしてください。)

- 必ず切タイマーのセットを先に行ってください。入タイマーのセットを先に行いますと、切タイマーのセットをすることはできません。



チャイルドロック

お子様などによるいたずら操作の防止や、誤って運転キーを押しても点火しないようにする機能です。

チャイルドロックのセット

時刻設定キーを長押ししてください。

- デジタル表示部の **時刻設定** マークが点灯するとセット完了です。
- 運転中または停止中でもチャイルドロックできます。



チャイルドロックの解除

再度、時刻設定キーを長押ししてください。

- 運転中にチャイルドロックをセットすると、セット中は運転停止(消火)と秒速点火解除操作以外は受け付けません。
- 停止中にチャイルドロックをセットすると、セット中はすべての操作を受け付けません。



eco (エコ) ガイド

「今日」「昨日」の灯油使用量とリセットした日からの「積算」の灯油使用量および使用日数を表示します。

灯油使用量の表示方法

運転中または停止中に eco (エコ) ガイドキーを押してください。

- eco (エコ) ガイドキーを押すごとにデジタル表示部が次のように切りかわります。

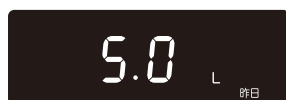


【今日1日の灯油使用量】



〔例〕 今日1日 灯油2.1L使用
今日1日の灯油使用量を表示します。(午前0時から現在までの灯油使用量)
灯油使用量は0.1L単位で表示します。

【昨日1日の灯油使用量】



〔例〕 昨日1日 灯油5.0L使用
昨日1日の灯油使用量を表示します。(午前0時から24時間の灯油使用量)
灯油使用量は0.1L単位で表示します。

【積算の灯油使用量】



〔例〕 灯油319L使用
リセットした日からの積算の灯油使用量を表示します。
灯油使用量は1L単位で表示し、最大3999Lまで積算します。

積算の使用日数の表示方法

積算の灯油使用量を表示している状態で時刻設定キーを押している間、積算の使用日数を表示します。

【積算の灯油使用量】



時刻設定



時刻設定キーを
押しつづける

【積算の使用日数】



〔例〕 204日使用時
リセットした日からの使用日数を表示します。
(使用日数は午前0時に加算されます。)
最大 3999 日まで積算します。

- 灯油使用量は四捨五入した数値を表示します。
- 積算の灯油使用量表示中に eco (エコ) ガイドキーを押す、または10秒間操作がないとき、デジタル表示部はもとの表示にもどります。
- 現在時刻が合っていない場合、灯油使用量や使用日数が正しい値を表示しません。「現在時刻の合せかた」を参照し現在時刻合せを行ってください。(P.11ページ)

ご注意

- 表示する灯油使用量はめやすです。使用状況によって実際の灯油使用量と異なる場合があります。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電があったときは今日1日の灯油使用量が「0.0」になります。(昨日と積算の灯油使用量、使用日数は記憶されています。)
- 午前0時の時点で電源プラグをコンセントから抜いていた場合、使用日数は加算されません。

積算の灯油使用量と使用日数のリセット方法

停止中に積算の灯油使用量を表示している状態で入タイマー1キーを長押ししてください。

積算の灯油使用量がリセットされ、表示が「0」になります。

(積算の使用日数も同時にリセットされます。)

- 入タイマー運転中、エコモード自動消火中はリセットできません。

【積算の灯油使用量】



〈長押し〉

入
タイマー1



自己診断モニターについて

故障・異常が発生するとその状態がデジタル表示部に記号表示(自己診断モニター)されます。
「故障・異常の見分け方と処置方法」(P.18・19ページ)をご覧ください。記号表示に合った必要な処置をしてください。

<自己診断モニター>

表示	原因	処置方法	表示	原因	処置方法
E0	排気管抜け検知装置作動	①	E4	途中消火	①
E1	低圧回路リード線本体短絡		HC点滅	不完全燃焼防止装置作動	
E2	不着火		HH点滅	連続不完全燃焼通知機能作動	
E5	気化筒温度が一定温度以下		HH点灯	再点火防止機能作動	③
E6	気化筒温度が一定温度以上		■処置方法		
E7	燃焼用送風機パルス検知異常		①運転キーを一旦「切」にし、再び「入」にしてください。		
E8	対流用送風機パルス検知異常		②直ちに部屋の換気を十分にしてください。運転キーを一旦「切」にし、再び「入」にしてください。		
E9	対震自動消火装置作動		③直ちに部屋の換気を十分にしてください。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて修理を依頼してください。		
EE	停電				
EF	過熱防止装置作動				
EH					
EC	室温異常上昇防止装置作動				

表示	表示理由・処置方法
88	点検時期お知らせ機能(タイムスタンプ)が作動しました。 下記の「■88表示 点検時期お知らせ機能について」を参照して、あんしん点検(有料)を依頼してください。

お願い

- お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡していただく際は、表示している自己診断モニターもお知らせください。

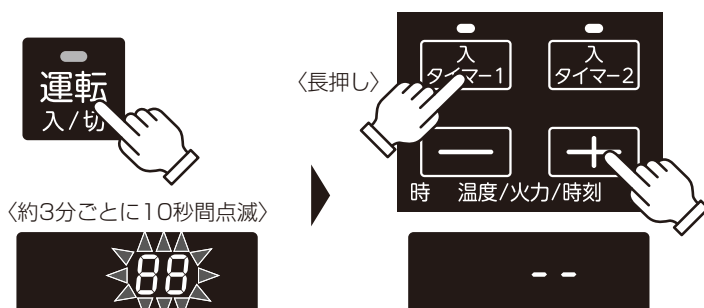
■88表示 点検時期お知らせ機能について

- 本製品には点検時期お知らせ機能(タイムスタンプ)が搭載されています。
ストーブの使用時間が設計上の標準使用期間8年相当(20,000時間)になったら、表示部に**88**を表示して点検時期をお知らせします。
- 経年劣化による重大事故を防止するために、忘れずにあんしん点検(有料)を依頼してください。
- 弊社 お客様ご相談窓口：コロナサービスセンターにご連絡してください。点検のご案内をさせていただきます。
受付時間：365日24時間受付 TEL：フリーダイヤル 0120-919-302 携帯電話：ナビダイヤル 0570-550-992
(ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります)
- 故障ではありませんのでご使用できます。

ご注意

- 使用状況によっては点検時期お知らせ機能(タイムスタンプ)による点検時期お知らせ表示が設計上の標準使用期間8年より早く表示することがあります。
- 点検後は使用時間が3年相当(7,500時間)の使用期間ごとに**88**を表示して、点検時期をお知らせします。安全に製品を使用していただくため、**88**を表示した場合は、あんしん点検(有料)を受けることをおすすめします。

- 点検を受けていただくまでの間、表示部の**88**を表示しないようにできます。
弊社 お客様ご相談窓口にご連絡してから次のように操作してください。



1. 運転キーを押してください。
約3分ごとに**88**表示が10秒間点滅します。
2. 温度調節キーの**+**を押しながら**入 タイマー-1**を長押ししてください。
表示部が**88**から**--**に切りかわり、点検時期お知らせ表示**88**を表示しなくなります。

- 点検を受けずにご使用になった場合、上記操作後1年相当(2,500時間)になると再度**88**を表示します。

6 安全装置

このストーブには次のような安全装置がついています。安全装置が作動して消火した場合は、ストーブと周囲の点検・処置を行ってください。すべての安全装置は、異常が取り除かれても再度点火操作をしなければ運転は停止したままです。また、すべての処置は必ず、ストーブが消火し本体温度が十分下がってから行ってください。

安全装置	原因・作動結果	処置方法
【対震自動消火装置の作動】 E9 表示	<ul style="list-style-type: none"> ●地震や強い衝撃を受けたときは対震自動消火装置が作動して自動的に消火します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地震によって作動した場合、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、給排気筒の外れなど異常がないことを確認してから再点火してください。
【点火安全装置の作動】 【燃焼制御装置の作動】 【不完全燃焼防止装置の作動】 E2 表示 E4 表示 HC 点滅	<ul style="list-style-type: none"> ●点火ミス・途中消火をしたときに自動消火します。(E2表示・E4表示) ●万一異常燃焼した場合は不完全燃焼防止装置が働いて消火します。(E4表示・HC点滅) 	<ul style="list-style-type: none"> ●「日常の点検・手入れ」(P.16・17ページ)をしてから点火操作をしてください。処置しても繰り返しエラー表示が出るときは、一旦運転キーを「停止」にしてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡してください。
【不完全燃焼防止装置の作動】 HH 点滅 HH 点灯	<ul style="list-style-type: none"> ●不完全燃焼防止装置が連続して4回作動すると「連続不完全燃焼通知機能」が働き、お知らせします(HH点滅)。 ●さらに不完全燃焼防止装置(不完全燃焼通知機能)が連続して3回作動すると「再点火防止機能」が働き、再点火できなくなります(HH点灯)。 	<ul style="list-style-type: none"> ●排気管に外れがないか、また他の燃焼機器などの影響がないか確認してください。 ●部屋の換気を十分にしてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡してください。
【停電安全装置の作動】 EE 表示	<ul style="list-style-type: none"> ●停電や電源プラグがコンセントから抜けたときは、すべての運転を停止します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●停電復帰(再通電)後デジタル表示部にEEが表示され、ストーブは運転しません。再度点火操作をしてください。
【過熱防止装置の作動】 【安全サーモスタット】 EF 表示	<ul style="list-style-type: none"> ●ファンフィルターや温風吹出口がほこりなどでふさがれたり、ストーブ前面に障害物があるなどして本体内部が過熱すると自動的に消火します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ファンフィルターや温風吹出口の掃除をしてから再点火してください。(P.17ページ) 処置しても繰り返しエラー表示が出るときは、一旦運転キーを「停止」にしてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡してください。

7 その他の装置

装置の名称	原因・作動結果	処置方法
【排気管抜け検知装置の作動】 E0 表示	<ul style="list-style-type: none"> ●排気管の接続部が外れたり、排気管抜け検知用リード線が断線したときには、安全装置が作動し、エラー表示E0を出し、自動的に消火します。排気管抜け検知装置が作動している場合は、エラー表示E0が出て点火できません。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●排気管抜け検知装置にたよらず、給排気筒や延長管を月に1度は点検してください。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●原因を調べ、処置後点火操作をしてください。 <p>排気管抜け検知用リード線のゆるみまたは、外れ・切れがないか確認してください。</p>
【過電流防止装置の作動】 (15アンペア・6アンペア)	<ul style="list-style-type: none"> ●内部配線のショートにより過電流が流れたとき、電流ヒューズが切れ、すべての運転を停止します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご修理を依頼してください。
【室温異常上昇防止装置の作動】 EL 表示	<ul style="list-style-type: none"> ●部屋の温度が50℃以上になったときに自動的に消火します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●窓をあけ、部屋の換気をしてから、点火操作を行ってください。

8 日常の点検・手入れ

点検・手入れは、消火後ストーブが十分冷えてから、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- ご注意**
- 電気部品の分解や市販品との交換は絶対にしないでください。
 - 燃焼部の分解は絶対にしないでください。
 - 部品にさわるときや、内部を掃除するときは、けがをしないように手袋をはめて行ってください。
 - ストーブをベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色します。

ストーブとストーブ周囲の点検 (使用ごと)

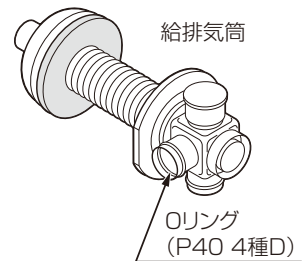
- **警告** カーテン・布団や毛布など燃えやすいものを近づけないでください。火災が発生するおそれがあります。
- ほこりや汚れをそのままにしておきますと、油がしみたりして危険です。ストーブはいつも清潔にしてご使用ください。
- **注意** 給油タンクおよび機器などから油漏れがないことを確認の上、ご使用ください。
- 油漏れがある場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて修理を依頼してください。

給排気筒接続部のゆるみおよびトップ周囲の点検 (使用ごと)

- **警告** 給排気筒(管・ホース)が外れたまま使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが漏れて危険です。
- **警告** 積雪が多いときには、給排気筒トップの周りが雪でふさがれていないことを確認してください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると、運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。
- 給排気筒およびトップの周囲に障害物が置かれていないか、点検してください。障害物が置いてある場合は、移動してください。

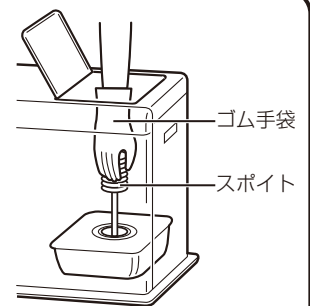
給排気筒接続部のゆるみおよびトップ周囲の点検 (1シーズン1~2回)

- 給排気筒がつまると、不完全燃焼を起こします。シーズン初めには必ず点検し、くもが巣をつくったり異物が入ったりしているときは、必ず掃除してください。
- 給排気筒を一度取り外して、再び取り付けるときは、排気筒の接続部内部にはめこんであるOリングが破損していないか確かめてください。破損していた場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて交換を依頼してください。
- 給気ホースが排気筒にあたっていないかを点検してください。



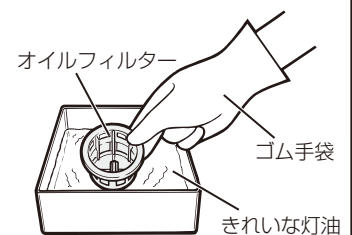
固定タンクの手入れ

- ときどき、オイルフィルターや固定タンク内を点検してください。給油時などに混入した水やごみがオイルフィルターや固定タンクの底にたまる場合があります。オイルフィルターの手入れとともに固定タンクの手入れもしてください。
- オイルフィルターを取り出し、市販のスポイトなどで固定タンク内にたまっているごみや水を抜いてください。
- こぼれた灯油はよくふき取ってください。
- 灯油をふき取る場合は、ゴム手袋等を着用してください。けがをするおそれがあります。
- 灯油の廃棄処分については、灯油をお買いあげになった販売店にご相談ください。



オイルフィルターの手入れ (1シーズン1~2回)

- 固定タンクからオイルフィルターを取り出し、中のごみやほこりを除去してから、きれいな灯油で洗浄してください。
- 洗浄後は、もとどおりセットしてください。
- 絶対に水で洗わないでください。
- 給油タンクの中に灯油が入っているのに、給油表示が点滅し火が消えたときはオイルフィルターにごみやほこりがたまって油の流れを悪くしています。ときどきオイルフィルターの掃除をしてください。



熱交換器の点検 (1シーズン1~2回) お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼してください。

熱交換器の内部にすすが異常にたまると、不完全燃焼の原因になります。

- 異常燃焼(においがしたり、給排気筒から黒煙が出るようなとき)が起こった場合には、バーナの点検とあわせて熱交換器の点検をお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼してください。

のぞき窓の透明度が悪くなったとき お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼してください。

- 異常燃焼(においがしたり、給排気筒から黒煙が出るようなとき)をしている場合があります。バーナの点検とあわせて熱交換器の点検をお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼してください。

ファンフィルターの掃除 (週1回以上)

ファンフィルターは1週間に1回以上掃除してください。

- ごみやほこりなどでファンフィルターがつまると、送風力が弱くなりストーブ表面温度が上昇し、過熱防止装置作動(デジタル表示部に **EF** 表示)の原因になります。

1. 運転を停止してください。

- 運転を停止し、温風が出なくなり対流用送風機が止まっていることを確認してください。

2. ファンフィルターを外してください。

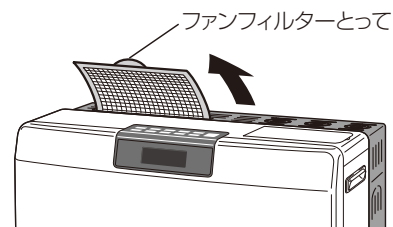
- ファンフィルター上部のとってを持って手前に引き上げると外れます。

3. ほこりを取り除いてください。

- 掃除機などでファンフィルターについたほこりを取り除いてください。

4. ファンフィルターを取り付けてください。

- ファンフィルターをもとどおりに取り付けてください。

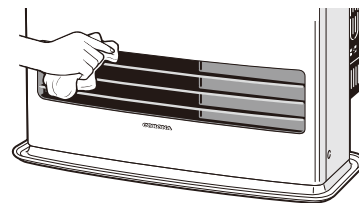


- ファンフィルターを外したままの状態では、絶対に運転しないでください。

温風吹出口の掃除 (週1回)

やわらかい布でふき取ってください。

- 本体や温風吹出口の汚れは、本体が冷えてから、しめらせたやわらかい布でふき取ってください。



- しつこい汚れは中性洗剤を使用し、十分からぶきしてください。
- 温風吹出口羽根を曲げたり、変形させないように注意してください。
- ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色します。

地震などの災害が発生したときの点検

地震などの災害が発生し、製品に振動や衝撃が加わったときは、運転前に必ず次の点検を行ってください。

- 給排気筒周りの外れ、漏れの確認
- 機器の損傷点検

点検で異常が見つかった場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼してください。


9 定期点検

コロナ密閉式石油ストーブは使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品があります。定期点検は専門の技術者が、設置状態・給排気まわりの点検、安全装置および運転動作の点検・確認、使用時間により消耗劣しやすい部品の点検などを行います。安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

- 2シーズンに1回程度、シーズン終了後などに定期点検を受けてください。ただし、湿度の高い所、ほこりの多い所（例えば、厨房室や製綿工場など）、温泉地域でご使用の場合は、1シーズンに1回程度の点検が必要となります。
- 点検のご相談はお買いあげの販売店または修理資格者〔一般財団法人 日本石油燃焼機器保守協会（TEL 03-3499-2928）で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士など）〕のいるお店またはお客様ご相談窓口（☎ 22ページ）までご相談ください。
- 定期点検の費用についても、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口（☎ 22ページ）までお問い合わせください。点検の結果、部品交換および修理などが必要な場合は、処置内容および費用についてお客様にご相談申し上げます。

定期点検の内容

項目	内容
設置状態、給排気まわりの点検・確認	●製品の設置、使用状態 ●給排気筒の接続とつまり ●給油口
安全装置および運転動作の点検・確認	●安全装置の動き ●運転動作の確認 ●操作部品や動く部品の動き
環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・確認	●点火プラグ、フレームロッドなどの点検 ●給排気部品、排気管接続用Oリングなどの点検 ●バーナなどの点検 ●各種送風機の点検 ●各種パッキンの点検
製品の清掃・整備	●本体内部 ●固定タンクの水抜き ●ファンフィルター、対流用送風機 ●オイルフィルター

愛情点検	長年ご使用の密閉式石油ストーブの点検をぜひ！	ご使用中止
	<p>こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ●油漏れがする。 ●強いにおいがする。 ●運転中に異常な音がする。 ●その他の異常や故障がある。 	<p>故障や事故の防止のため必ずお買いあげの販売店にご連絡ください。点検・修理についてのご費用など詳しいことはお買いあげの販売店にご相談ください。</p>

10 故障・異常の見分け方と処置方法

次のような現象は故障ではありません。

- 修理を依頼される前にもう一度お確かめください。

	現象	説明
点火時・消火時	初めて使用するとき、煙やにおいが出る。	耐熱塗料やほこりなどが焼けるためです。窓をあけ、換気をしながら大火力で半日から1日程度運転してください。
	初めて使用するときや、シーズン初めの初使用時に1回で着火しない。	固定タンクに灯油がみだされるまで4～5分位待つて点火操作をしてください。送油経路の空気だまりなどにより、1回で着火しないことがあります。2～3回点火操作をくりかえしてください。
	すぐに点火しない。	石油ガス化方式のため予熱時間が約2分30秒必要です。（予熱時間は室温により多少変化します。）
	予熱中、燃焼開始時や消火後に「ピチ・ピチ」という音がする。	本体内部が熱により膨張、収縮するためです。異常ではありません。
	点火してもすぐ温風が出ない。	不快な冷風を出さないため、本体内部があたたまると温風が自動的に吹き出きます。
燃焼時	消火しても温風が出ている。	本体内部が冷却するまで送風を続けます。
	点火プラグ・フレームロッド・バーナヘッドが赤くなる。	炎に熱せられて赤熱するためです。異常ではありません。
	炎の中に黄色い炎が混じる。	異常ではありません。
その他	使用中にときどき「ポコ・ポコ」という音がする。	給油タンクから固定タンクの方に灯油が流出するときの音で異常ではありません。
	エコサインと実際の火力の大きさが異なる。	点火直後や火力変更時は、エコサインと実際の火力の大きさが異なることがあります。
	給排気筒の先端から連続的に白煙が出る。	外気温が低くなると、排ガス中に含まれている水分が凝結して水蒸気になるため、異常燃焼による白煙ではありません。
	使用中にときどき「コト・コト」音がする。	電磁ポンプの運転音です。異常ではありません。
	表示部に 88 が表示される。 点検時期お知らせ機能（タイムスタンプ）作動	ストーブの点検時期になりました。「 88 」表示 点検時期お知らせ機能について」を参照してください。（☎ 14ページ）

点検・その他

●次の表にもとづいて、もう一度お確かめください。

●表にないエラー表示の場合、あるいは処置方法により処置しても良くならないときは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

原因	現象										エラー表示	処置方法
	点火しない	大きな燃焼音をあげて燃える	火が途中で消えてしまふ	運転しない	モニターランプもつかない	油漏れがある	においがする	炎が大きくなりなご	赤火で燃える			
電源プラグがコンセントに差しこまれていない	●				●						—	コンセントに確実に差しこむ
停電中である	●		●	●							—	通電されるまで待つ
給油タンクに灯油がない	●		●								—	給油する
連絡パイプの袋ナットが締まっていない						●	●				—	締め直す(お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口 に修理を依頼する)
排気管の配管が長すぎる									●		—	延長3m、曲がり3箇所以下にする
強い地震があった、またはストーブに衝撃を与えた			●							E9	—	「地震などの災害が発生したときの点検」(P.17ページ)の 点検項目を確認し、運転キーを押しなおし、再点火する
排気管の接続部にスキマがある									●		—	接続箇所正しく取り付け
給排気筒の先端がおおわれている			●						●	E2・E4	—	おおっているものを取り除く
ファンフィルターほこりだらまり			●							EF	—	掃除をする
電源コードの断線	●		●	●							—	お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口 に修理を依頼する
温風吹出口がふさがれている			●							EF	—	障害物を取り除く
不良灯油(変質灯油・不純灯油)を使用している			●				●	●		E2・E4	—	良質の灯油と入れかえる
給気ホースが外れている		●	●						●	E2・E4	—	確実に接続する
水平に設置されていない	●										—	市販の水平器などにより水平に設置する
室温異常上昇防止装置の作動			●							EC	—	窓をあけ、部屋の換気をする
不完全燃焼防止装置の作動			●				●	●		HC・HH	—	直ちに部屋の換気をし、お買いあげの販売店または お客様ご相談窓口ご連絡する
排気管抜け検知装置の作動	●	●								EO	—	排気管の接続部および排気管抜け検知用リード線の接続 部の外れがないか点検し、外れていたら正しく接続する

11 部品交換のしかた

部品交換のときの注意

ご注意 不完全な修理、調整は危険ですので、部品の交換、調整が必要な場合には、お買いあげの販売店または、修理資格者〔一般財団法人 日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる販売店にご相談ください。

部品交換は **コロナ純正部品** とご指定ください。

消耗・劣化しやすい部品(交換が必要な部品)

■長期間の使用により消耗・劣化しやすい部品

- バーナヘッド
- バーナヘッドリング
- 電極
- フレームロッド
- 排気管接続用Oリング
- 各種パッキン

■変質・不純灯油などの不良灯油の使用により劣化しやすい部品

- フレームロッド
- 気化筒
- 電磁ポンプ
- オイルフィルター

12 保管(長期間使用しない場合)・廃棄のしかた

シーズンオフや長期間使用しないときは、次の要領で手入れを行い保管してください。また、いたんでいるところがある場合は、修理をしてから保管してください。

長期間使用しない場合

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 注意** 長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 給油タンクを取り出し、給油タンク内の灯油をすべて抜き取ってください。
 - 中に水分やごみが残ったままにしておきますと、給油タンクが腐食する原因になります。
- ファンフィルター・温風吹出口のほこりを掃除機などで取り除いてください。(P.17ページ)
- オイルフィルターを取り出し、市販のスポイトなどで固定タンク内の灯油や水を抜き取り内部をきれいにしてください。
 - オイルフィルターは、灯油ですすぐ洗いしてください。(P.16ページ)
- 本体のごみやほこりを取り除いてください。
 - 掃除機などでごみやほこりを取り除いてください。
- 本体をしめらせた布で汚れを落してから、からぶきしてください。

廃棄のしかた

- 廃棄処分するときは、各自治体の指示に従ってください。
- 必ず給油タンク・固定タンク内の灯油を抜き取ってください。
- 灯油の廃棄処分については、灯油をお買いあげになった販売店にご相談ください。

7. ストーブは据付けたまま保管してください。

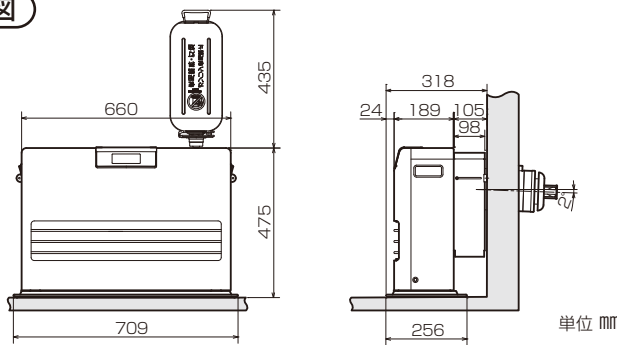
- 温風吹出口や背面の対流用送風機にほこりなどがたまるようカバーなどをかけてください。(別売の本体化粧カバーのご使用をおすすめします。)
- どうしても取り外して保管されるときは、ポリ袋に入れ、乾燥した場所に横倒しにしないように保管してください。
- 次シーズンに据付けを行うときには、必ずお買いあげの販売店に依頼してください。
- 取扱説明書、工事説明書も大切に保管してください。

13 仕様

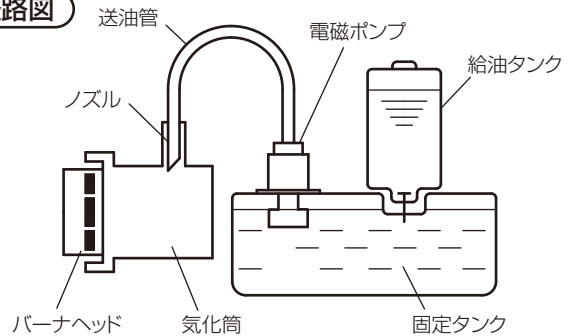
型式の呼び	FF-WG52YH(基本型式FF-WG52YE)	
種類	気化式・強制給排気形・強制対流形	
点火方式	高圧放電点火式	
使用燃料	灯油(JIS 1号灯油)	
燃料消費量	最大	5.96 kW(0.579 L/h)
	最小	1.72 kW(0.167 L/h)
発熱量(入力)	最大	21,450 kJ/h
	最小	6,190 kJ/h
熱効率	最大	87.0%
	最小	86.6%
暖房出力	最大	5.18 kW
	最小	1.49 kW
給油タンク容量	5.0 L	
暖房のめやす	温暖地	木造 23.0㎡(14畳)まで コンクリート 29.5㎡(18畳)まで
	寒冷地	木造 23.0㎡(14畳)まで コンクリート 36.5㎡(22畳)まで
外形寸法	高さ 475mm 幅 709mm 奥行 318mm	
質量	20.6 kg	
電源電圧および周波数	100 V 50/60 Hz	
定格消費電力(50/60Hz)	点火時最大 650/650 W 燃烧時 21/21 W	
待機時消費電力	0.5 W	
給排気筒の型式の呼び	QU40-6	
給排気筒の呼び径	D40	
給排気筒の壁貫通部の孔径	φ65~φ75	
排気温度	260℃以下	
電流ヒューズ	15 A・6 A	
安全装置	対震自動消火装置・不完全燃焼防止装置・点火安全装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置(安全サーモスタット)	
その他の装置	排気管抜け検知装置・過電流防止装置・室温異常上昇防止装置	
付属品	給排気筒セット1・取扱説明書1・工事説明書1	

備考 暖房のめやすは、一般社団法人 日本ガス石油機器工業会の算定基準によります。

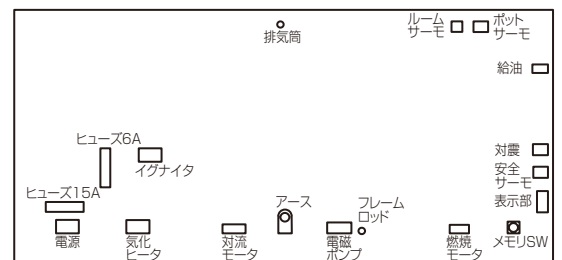
外形寸法図



送油経路図



端子配置



14 アフターサービス

保証について

- このコロナ密閉式石油ストーブには保証書がついています。(裏表紙に印刷されています。)**「お買いあげ日・販売店名」**などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りになり、大切に保管してください。
- 保証期間は**お買いあげいただいた日から1年間**です。
- 次のような原因による故障および事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。
 - 変質灯油や不純灯油などの不良灯油、また灯油以外の燃料使用による故障や事故。
 - 誤った使用方法による故障や事故。

修理を依頼される時

- 本書の「故障・異常の見分け方と処置方法」(18・19ページ)の項に従って調べても良くならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。
- ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
 - 品名：コロナ密閉式石油ストーブ
 - お買いあげ日
 - 型式の呼び：FF-WG52YH
 - 故障状況(できるだけ具体的に)
 - ご住所・お名前・電話番号
- 修理に際しては、保証書をご提示ください。保証期間中であれば保証書の規定に従って無料修理させていただきます。
- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

保証期間が過ぎているときは

- お買いあげの販売店にご相談ください。修理によって使用できる製品についてはお客様のご要望により有料修理いたします。
- 修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。
 - 技術料は、診断・故障箇所の修理、部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
 - 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
 - 出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

補修用性能部品の保有期間

- 石油ストーブの補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後7年です。

点検・その他

15 据付け・移設

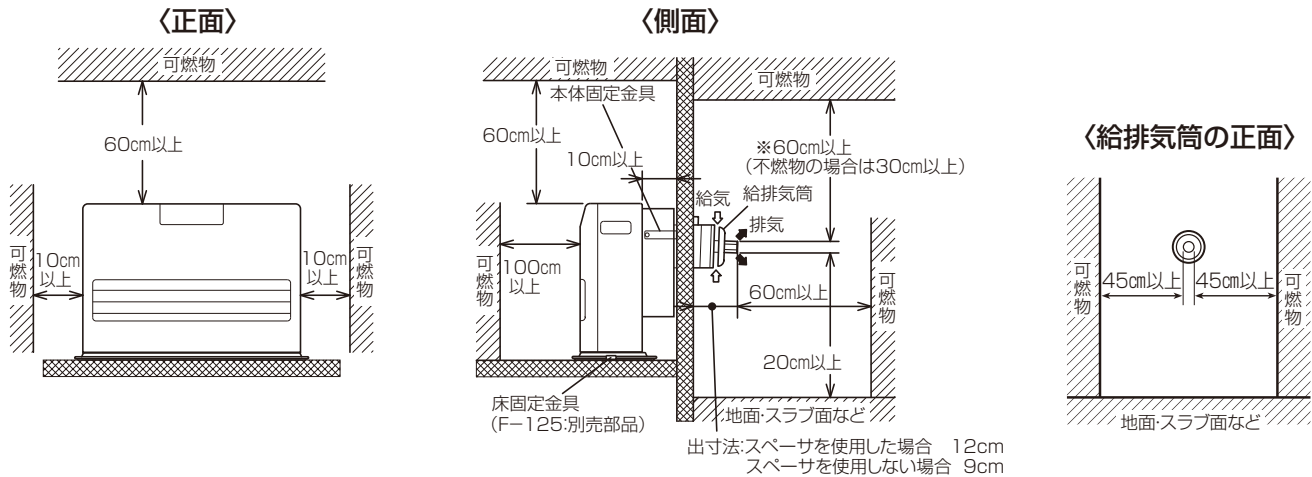
据付け・移設工事はお買いあげの販売店に依頼する

据付けや移設工事はお買いあげの販売店または据付け業者に依頼して、お客様ご自身では行わないでください。

据付け場所の選定および標準据付け例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり、お買いあげの販売店または据付け業者とよくご相談ください。また、「標準据付け例」については、下図を参照してください。

標準据付け例



●ただし、不燃物の場合でも、保守点検と性能維持のため可燃物と同じ離隔距離にしてください。

給排気筒を延長する場合の注意

給排気筒を延長する場合は、3m3曲がり以下で取り付けられる場所を選定してください。

積雪地区における注意

給排気筒トップが雪でふさがれない場所に設置してください。落雪による給排気筒トップがふさがれたり破損するおそれのある場所には設置しないでください。

また、風がよどむような場所では、排ガスを再度吸いこんで不完全燃焼を起こすことがあります。

据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据付けられているか確認してください。

試運転

試運転は、お買いあげの販売店または据付け業者とごいっしょに必ず行ってください。

1. 運転準備 (☞ 7・8 ページ)

- ①給油タンクに灯油 (JIS 1 号灯油) を給油し、ストーブにセットしてください。
- ②ストーブの置台の上や給油タンクに、油のたまりや油漏れがないか確かめてください。
- ③電源プラグをコンセントに差しこんでください。

● **⚠ 注意** 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差しこんでください。

2. 運転 (点火) (☞ 9 ページ)

運転キーを押してください。

- 運転ランプが点滅し、約2分30秒後に着火し、着火後約1分で対流用送風機がまわり温風が出ます。
- 炎の状態は青い炎の中にいくらかの黄色い炎 (赤火) が混じっても異常ではありません。
- 初めてお使いになるときは、ストーブの防錆油や耐熱塗料などが焼けて煙とにおいが出ることがあります。窓をあけて部屋の換気をしながら、大火力で半日から1日程度運転してください。また、小鳥や小動物などに影響する場合がありますので、この間は部屋に入れないでください。

3. 消火 (☞ 10 ページ)

運転キーを押してください。

- 運転ランプが消灯し、約6分後に本体内部が冷却すると、燃焼用・対流用送風機が停止します。

16 お客様ご相談窓口



お客様ご相談窓口

修理サービスや製品についてのご相談は型式名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記の窓口にご依頼ください。

電話番号やアドレスは変更する場合がありますのでご了承ください。

コロナサービスセンター（全国共通番号 365日24時間受付）

TEL フリーダイヤル  **0120-919-302**

携帯電話 ナビダイヤル  **0570-550-992**

ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります。

修理・アフターサービスに関するお問い合わせ

<https://www.corona.co.jp/support/service/>



- 365日24時間修理依頼ができます。
- 部品保有年限が経過している製品は受付しないこともあります。
- 右記QRコードからアクセスできます。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



コロナ公式オンラインストア

お客様ご自身で簡単に交換いただける純正部品、別売部材を販売しております。製品内部の部品や交換の際に資格や技術が必要となる部品などは販売しておりません。

補修用性能部品の保有期間が過ぎている部品は、取り扱いを終了している場合があります。下記アドレスページ内の対応型式をよくご確認ください。



公式オンラインストア

CORONA STORE

<https://ec.coronaweb.com/>
(コロナ公式ホームページからもアクセスできます)



株式会社 **コロナ**

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7
TEL(0256) 32-2111 〈代表〉
ホームページ <https://www.corona.co.jp/>

コロナ 石油ストーブ保証書

型式	FF-WG52YH	
★ お 客 様	お名前	様
	ご住所 〒 (-)	
	電話 () -	

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買いあげの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

●ご販売店様へ
お買いあげ日、貴店名、住所、電話番号をご記入の上(★印欄に記入のない場合は、無効となります)、本書をお客様へお渡しください。

★お買いあげ日	年 月 日	住所・店名
保証期間	本体……………お買いあげ日より 1年間	★販売店 電話 () -
	燃焼部分……………お買いあげ日より 3年間	

見本

●お客様へお願い
お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をわかりやすくご記入ください。
販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

《無料修理規定》

- 取扱説明書、本体表示等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買いあげ販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、お買いあげの販売店に依頼してください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。また、本品を直接送付される場合の送料は、お客様の負担となります。
- ご転居の場合は事前にお買いあげ販売店にご相談ください。
- ご事情により、本保証書に記入してあるお買いあげ販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談窓口(本書22ページに記載)にお問い合わせください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買いあげ後の取付場所の移動、輸送、落下等による故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害および、変質灯油や不純灯油などの不良灯油、異質油(灯油以外の油または混入)による故障および損傷
 - (ニ) 業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障および損傷
 - (ホ) 本書にお買いあげ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がない場合
 - (ヘ) 本書の提示がない場合
 - (ト) 点検整備、および消耗品(Oリング、各種パッキン類)の交換をされる場合
 - (チ) 定期点検の費用
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This guarantee is valid in Japan only.
- 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 「3年間保証」の対象部品は、バーナ部分・外筒熱交換器部分です。
(ただし、バーナ部分の電極、フレームロッドは1年間保証です。)

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口(本書22ページに記載)にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは「アフターサービス」のページをご覧ください。

※アフターサービスや製品についてのお問い合わせは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口(本書22ページに記載)にお問い合わせください。

株式会社 コロナ

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7
TEL(0256) 32-2111 <代表>

ホームページ <https://www.corona.co.jp/>